

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) ユーサン精密株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒709-2331 岡山県加賀郡吉備中央町下加茂1825	
本票作成	部署名： 第一工場 芯金処理課				
主たる業種	分類コード	24	業種名： 金属製品製造業		
事業の概要	① プレス型 プレス製品製造 金属表面処理 ② ゴム製品用金型製造 ③ 電源ユニット・高周波ユニット・コントロールユニット製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	第一工場		岡山県加賀郡吉備中央町下加茂1825	
	②	第二工場		岡山県加賀郡吉備中央町下加茂1075-3	
	③	新山工場		岡山県加賀郡吉備中央町福沢251-2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	11,907 t CO ₂			11,312 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	第一工場		9,851 t CO ₂					
	②	第二工場		1,990 t CO ₂					
	③	新山工場		66 t CO ₂					
				t CO ₂					
			t CO ₂						
			t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 売上高	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		13.013 t CO ₂ / (千万円)	12.362 t CO ₂ / (千万円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

新規設備は省エネタイプを導入する。 不良率を下げて生産性を上げる。

【目標削減率達成のための推進体制】

ISO14001システム運用で削減目標を設定し継続的改善を実施。

毎月の環境委員会でCO²排出量と原単位削減の状況を評価し活動を活性化している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
第一工場	<ul style="list-style-type: none"> 社内便輸送トラック燃料をBDFで運行。（平成26年度で中止） 工場内照明(蛍光管、水銀灯)をLEDに交換。 A重油をLSA重油に変更し燃焼効率を上げ使用量を抑える。
第二工場	<ul style="list-style-type: none"> 機械加工設備を省エネの最新機種に数台入替え電力量削減と売上高アップ。
新山工場	<ul style="list-style-type: none"> 新製品開発により売上高アップ。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
第一工場	<ul style="list-style-type: none"> 工場内照明(蛍光管、水銀灯)を引続きLEDに交換する。 不良率を下げて無駄なエネルギーを削減する。 A重油と廃てんぷら油を混合させてボイラー燃料としA重油の使用量を削減する。
第二工場	<ul style="list-style-type: none"> 試作の効率改善で電力量削減と売上高アップを目指す。
新山工場	<ul style="list-style-type: none"> 新製品開発を実施し売上高アップを目指す。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

社内便輸送トラック燃料をBDFで運行を中止。

(廃てんぷら油を混合燃料としてボイラーで使用しA重油削減を実施する)